

# 投資家・国民の皆さま

**WEB** はウェブサイトのみに掲載している記事を示しています。

## 透明性の高い経営の推進と着実な債務の返済

### 外部評価による透明性確保

- ▶ 事業評価監視委員会による外部評価を受け、事業の効率性・透明性を向上させています

### 低利率かつ安定的な資金調達

- ▶ 道路建設資金の安定的な調達に努めています **WEB**
- ▶ 「SMBCなでしこ融資」による資金調達 **WEB**

## ステークホルダーとの対話

### 社長による定例記者会見

- ▶ 毎月の開催を通じて、事業への理解の浸透に努めています

### 投資家・金融機関の皆さまとの対話

- ▶ 事業説明会を毎年開催し、わかりやすく丁寧な情報提供を心がけています **WEB**
- ▶ 個別訪問を実施し、タイムリーな情報提供を心がけています **WEB**

### 地域住民の皆さまとの対話

- ▶ 地元・関係者の皆さまとの協議・事前説明を徹底しています **WEB**

### 現場見学会「なるほど！高速道路発見」

- ▶ 高速道路の現場を多くの皆さまに見学していただいています **WEB**

## メディアを通じた情報発信

### マスコミ向けプレスツアーの開催

- ▶ 新名神高速道路（高槻JCT～神戸JCT）の開通に先駆け、マスコミ向けプレスツアーを開催しました

### 積極的な情報発信

- ▶ 高速道路を快適にご利用いただけるよう、積極的な情報発信に努めています **WEB**

# 透明性の高い経営の推進と着実な債務の返済

## 外部評価による透明性確保

### 事業評価監視委員会による外部評価を受け、事業の効率性・透明性を向上させています

NEXCO西日本では事業の効率性・透明性の向上を図るため、社外の有識者からなる事業評価監視委員会を設置しています。毎年1回開催し、当社的高速道路事業について第三者の立場から評価をいただき、今後の事業計画に役立てています。委員会の開催状況はウェブサイトでも公開しています。

### 2017年度 事業評価監視委員会 委員

#### ○ 常任委員

出野 精二 [(公社)関西経済連合会 常務理事・事務局長]

帯野 久美子 [(株)インターアクト・ジャパン 代表取締役]

正司 健一 [神戸大学大学院教授]

戸田 常一 [広島大学大学院教授] = 委員長

中瀬 勲 [兵庫県立人と自然の博物館 館長]

#### ○ 特別委員

長谷川 修一 [香川大学教授]

### 2017年度 事業評価監視委員会 事業評価対象事業

#### ○ 再評価※1

近畿自動車道名古屋神戸線（大津JCT～城陽）25.1 km

近畿自動車道名古屋神戸線（城陽～高槻第一JCT）14.2 km

一般国道42号 湯浅御坊道路（有田～御坊）4車線化19.4 km

四国横断自動車道阿南四万十線（鳴門～高松市境）4車線化51.8 km

計4事業110.5km

※1 再評価：採択後3年を経過して未着工の事業および5年を経過して継続中の事業、再評価実施後3年経過した時点で継続中もしくは未着工の事業について実施し、事業の継続もしくは中止の方針を決定します。

## 関連ページ

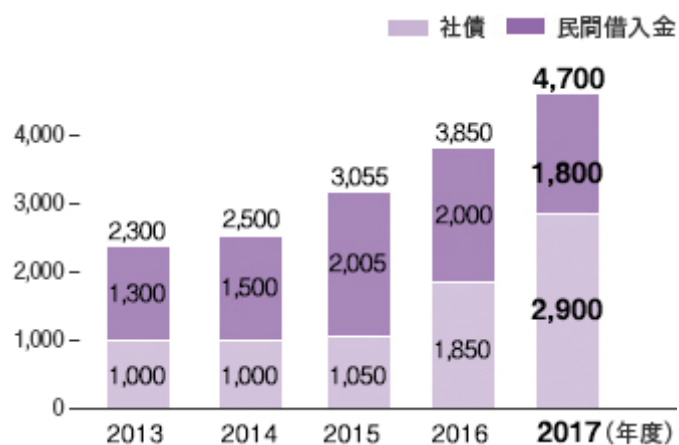
▶ [平成29年度 西日本高速道路株式会社 事業評価監視委員会](#)

## 低利率かつ安定的な資金調達

### 道路建設資金の安定的な調達に努めています

高速道路事業の遂行に必要な資金については、社債の発行や民間金融機関からの借入等によって調達しています。建設から管理まで長期にわたる事業となるため、低利かつ安定的に調達できるよう努めています。

## ▼資金調達の推移（単位：億円）



### 関連ページ

- ▶ [高速道路事業とNEXCO西日本の役割（高速道路機構の債務残高）](#)

### 「SMBCなでしこ融資」による資金調達

2017年度は、高速道路会社としては初となる「SMBCなでしこ融資」※を実施しました。当社における女性活躍推進の取り組み状況・実績を踏まえ、今後、女性の活躍が期待できる「女性活躍のグロース企業」との評価となりました。

なお、今回の融資によって調達した資金は、高速道路の新設、改築または修繕、災害復旧に要する費用に充当されます。

※企業の女性活躍推進の取り組み状況を独自の基準で評価し、現状の取り組み状況や今後の課題、その課題への取り組み事例などを提供する（株）三井住友銀行の融資商品



融資実行証授与式の様子

### 関連ページ

- ▶ [「SMBCなでしこ融資」を利用した資金調達の実施](#)

# ステークホルダーとの対話

## 社長による定例記者会見

### 毎月の開催を通じて、事業への理解の浸透に努めています

当社グループの経営状況、建設・管理、関連事業等への取り組みに対する理解を深めていただくため、社長による記者会見を毎月開催し、情報発信に努めています。

また、投資家や金融機関の皆さまを対象に事業説明会を毎年開催し、経営層と直接対話いただく機会を設けています。



記者会見

## 投資家・金融機関の皆さまとの対話

### 事業説明会を毎年開催し、わかりやすく丁寧な情報提供を心がけています

毎年7月に投資家や金融機関の皆さまをはじめとした市場関係者を対象に事業説明会を開催し、当社の事業に対する理解を深めていただけるよう努めています。

企業情報や決算情報に加え、2017年度は、近畿圏の新たな高速道路料金、新名神高速道路の建設状況、高速道路リニューアルプロジェクト（特定更新等工事）の主な工事計画のほか、2017年度の資金調達についてご説明しました。質疑応答などを通じて、経営層と直接対話していただく機会とすることで、双方向のコミュニケーションの場としても活用いただいています。

今後も皆さまの関心が高い事項をご説明するなど、より充実した説明会となるように努めていきます。

### 投資家・金融機関の皆さまへの個別訪問を実施し、タイムリーな情報提供を心がけています

投資家や金融機関の皆さまを個別に訪問し、事業のスキームや債務の特徴をはじめ、事業計画、財務情報等、関心が高い事項についてご説明しています。

今後も、当社の事業に対するいっそうの理解促進を図るべく、積極的かつタイムリーな情報提供に努めていきます。



2017年7月21日 事業説明会

## 地域住民の皆さまとの対話

### 高速道路の新設・改築の際は、地元・関係者の皆さまとの協議・事前説明を徹底しています

高速道路を新設・改築する際には、地元自治体や警察、公共施設の管理者などの各関係機関や、計画道路の沿道地域の皆さまと入念な協議を重ねたうえで事業を進めています。

また、説明会や設計協議 [☞](#) の場でいただくご意見については、設計や計画に可能な限り反映させるよう努めています。

事業の全体概要はもちろん、環境対策や事業用地の取得など特に関心の高い事項については、必要に応じて現地での立ち会いや説明会を実施し、関係者の十分な納得が得られるまで説明を行っています。



事業説明会（新名神大津事務所）



境界立会（新名神京都事務所）



## 現場見学会「なるほど！高速道路発見」

### 高速道路の現場を多くの皆さまに見学していただいています

普段は、目にする事の出来ない高速道路の現場を多くの皆さまに見学していただき、当社の安全・安心の取り組みなどを“なるほど！”と発見していただく、現場見学会「なるほど！高速道路発見」を2014年度から開催しています。これまでに1,889組4,967人のご応募をいただき、348組1,059人のお客さまにご参加いただきました。

道路建設事業では新名神高速道路をはじめとした各地の建設工事現場、道路保全事業では道路維持や道路パトロールで使用する車両の乗車体験などの見学会を開催しました。

また、社員の技術力向上を目的として開設した茨木技術研修センターでは、親子を対象に、劣化した橋梁のたたき点検、料金所など、高速道路に関係するさまざまな業務を体験していただきました。

参加いただいたお客さまからは「普段走っている高速道路のうらがわが見学できてよかった」「スケールの大きさに感動した」「いろいろな工夫をしながら高速道路を造っていることがよくわかった」などのご感想をいただいています。

今後も親子で参加していただける夏休み企画などのニーズの高い見学会を開催し、多くのお客さまに当社の安全・安心の取り組みなどを知っていただけるよう、積極的な広報に努めていきます。



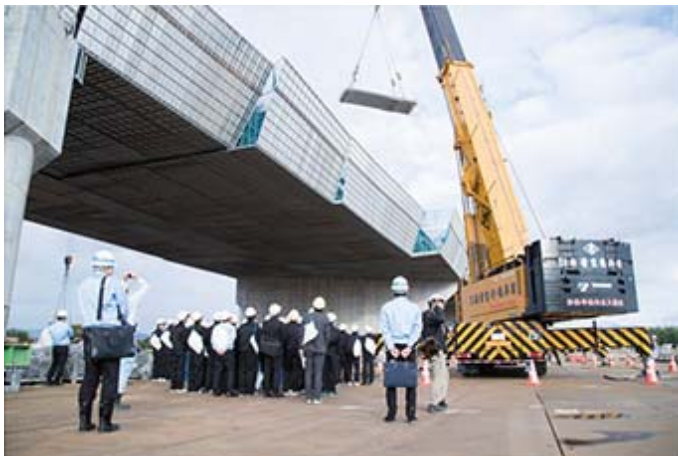
パトロール車両乗車体験の様子



新名神高速道路  
現場見学会の様子



現場見学会の専用受付サイト  
「なるほど！高速道路発見」



学生向け現場見学会の様子

## マスコミ向けプレスツアーの開催

### 新名神高速道路（高槻JCT～神戸JCT）の開通に先駆け、マスコミ向けプレスツアーを開催しました

プレスツアーでは、トンネル内に設置する高機能LED照明灯具により定速走行を支援する『ペースメーカーライト』や、火災通報・非常電話に連動した『自走式ロボットカメラ』などの日本で初めて導入する新技術を公開しました。

また、冬季に実施する冬用タイヤ規制時のタイヤチェックを迅速化・効率化する目的で試行導入する『冬用タイヤ自動判別システム』のデモンストレーションをマスコミ向けに公開し、テレビ・新聞等を通じ、高速道路の安全・安心に向けた取り組みを積極的に情報発信しました。



新名神開通前プレスツアー（トンネル）



新名神開通前プレスツアー（本線部）



冬用タイヤ自動判別システムデモンストレーション



### 高速道路を快適にご利用いただけるよう、積極的な情報発信に努めています

当社では、50周年を迎えた名神高速道路をはじめとして、建設から30年以上が経過した道路を多く管理しており、老朽化した高速道路の抜本的な補修を行っております。

特に、2015年3月25日に国土交通省より事業認可を受け、本格的に着手した高速道路リニューアルプロジェクト（大規模更新・修繕事業）では、長期間にわたる交通規制が必要となります。

高速道路リニューアルプロジェクトや集中工事は、ご利用されるお客さまをはじめ、高速道路沿線の皆さまにも大きな影響を及ぼすことから、多くの方にご理解いただけるよう、高速道路の損傷や老朽化の状況をお知らせし、健全な道路を次世代につなげるための工事であることを広く認識いただくため、テレビ・ラジオCMをはじめ、高速道路本線の電光掲示板やSA・PAのハイウェイ情報ターミナル、リーフレット、ポスター、フリーペーパー、ウェブサイト、お客さまセンターなど、あらゆるコミュニケーション手段を活用してお客さまにお伝えしています。さらにプレスツアーを開催し、マスコミを通じて老朽化した道路構造物や施工状況を積極的に情報発信しております。

また、WEBサイトでは、渋滞を回避して快適にご利用いただくため、工事規制予測や渋滞予測の情報を掲載するなど、日々、新鮮でお役立ちいただける情報発信に努めています。



リフレッシュ工事特設サイト



ウェブサイト



ポスター



リーフレット